

大分空港の宇宙空港化に伴う最新ニュース

- 1 大分県内企業に対する、宇宙ビジネスへの支援のための包括連携協定
(国東市、おおいたスペースフューチャーセンター、大分県信用組合)
- 2 広域観光連携事業についての発表会
(高千穂町、高千穂町観光協会、別府市、熊本県信用組合、大分県信用組合)
- 3 「観光振興等による経済活性化」推進のための包括連携協定
(由布院温泉観光協会、由布院温泉旅館組合、おおいたスペースフューチャーセンター、大分県信用組合)

大分県信用組合が進める地方創生の一つの柱である観光。2019年にスタートした「宇佐・国東半島 観光・地域振興広域連携プロジェクト」をはじめ、多くの取組みを行っているが、今回新しい動きが加わった。大分空港の宇宙空港化に伴う活動である。宇宙に関わる物と産業の集積と、それに伴う人流の発生が考えられる。豊かな観光資源に恵まれた大分県。それを有効かつ連携して県全体、東九州全体で盛り上げようという計画だ。けんしんが中継ぎをして地方公共団体や各種団体が手を繋いでいる。



「大分空港の宇宙港としての活用に伴う経済活性化等地方創生に係る包括連携協定書」調印式

〈写真左から〉
大分県信用組合
理事長 吉野一彦
国東市
市長 三河明史様
おおいたスペースフューチャーセンター
理事長 森 秀文様



〈写真左から〉
熊本県信用組合
理事長 島田万里様
高千穂町観光協会
会長 竹尾通洋様
高千穂町
町長 甲斐宗之様
別府市
市長 長野恭紘様
大分県信用組合
理事長 吉野一彦

〈写真左から〉
大分県信用組合
理事長 吉野一彦
由布院温泉旅館組合
代表理事 富永希一様
由布院温泉観光協会
代表理事 太田慎太郎様
おおいたスペースフューチャーセンター
理事長 森 秀文様



挑戦を、
加速させよう

- 1 特集/TOP INTERVIEW
有限会社 フクヤ
株式会社 西石油 グループ
有限会社 グランテック
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしんTOPICS

TEL 097-5348200
企画・編集 株式会社 アドコンセプト

所在地 大分市中島西2丁目4番1号

制服で未来を変える
信頼の輪が生むプラスの連鎖



上/地元の学校を中心に、年末から春先までは制服の仕立てで大忙し
下/大分市光吉のホワイトロード沿いに行むお店では、作業服から事務服、医療用白衣など、様々な商品を取り扱う



上/ユニフォームのサイズやネームの字体など、補正専門のスタッフがあらゆる悩みに対応する。下/創業時の鹿島社長。現在15名の社員が働いているが、最初は2人体制でのスタートだった

「仕事は趣味のようなもの。楽しまなければ損」と明るく話してくれた鹿島社長



日々多くの人が袖を通すユニフォームに仕事着や学生服があるが、それらが持つ意味について考えたことはあるだろうか。動作性の向上はもちろん、例えば同じ装いに身を包むことで生まれる連帯感はチームの団結力を高め、目的によっては団体のブランディングに繋がるケースも考えられる。「たかがユニフォームと考える方もいるかもしれませんが、されどユニフォーム。1着の服を変えたことにより従来のイメージを打破し、発展を遂げた企業は数えきれません」。そのように力強く語るのは、長期的な就労人口や生徒数の減少など時代の波に翻弄されながらも、昭和59年の創業以来、ユニフォームを通して様々な企業や人々の課題解決に務めてきた「フクヤ」代表取締役の鹿島定美氏だ。

かつては衣料品の卸売を手がける大手企業に勤め、独立の道を模索しながら31歳の若さで起業。提案型のセールスを追求する鹿島氏は、自らの足で積極的に業績の拡大に努め、制服の持つ力を唱えながら企業のイメージアップのサポートを続けてきた。38年もの歩みの中で拡大した取

大分南部ブロック同友会

[制服・作業服販売業]

有限会社 フクヤ

代表 鹿島 定美氏

DATA

〒大分市光吉587 ☎097-568-7622
営業 8:30~18:00 不定休あり あり

引先は、県下だけでもおよそ2000社。そして、これまでに多くの信頼を繋げてきたフクヤの強みは、顧客のあらゆるニーズに応える「技術力」そのもの。機器を完備し、専任のスタッフが常駐することで、ネーム入れや補正などの加工を自社で請け負うことを可能にしたという。作業の一本化は品質とスピードの向上を生み、お客様にあった着心地の良さを実現。品質から納期、アフターフォローまで、あらゆる面で目の届く管理を大切にしている鹿島氏は、地元密着型の企業としてお客様に安心と信頼、満足を届けることをモットーとしている。「業種を問わず、企業に合わせた提案ができるこの業界はとても面白いですよ。お子様から大人の方までお客様の年齢層も幅広く、みなさん肩書きも様々ですから」。多くの出会いによって広がった人脈は、人生の大きな財産。また、事業の拡大は自らの力だけではなく、周りの人々の支えがあつてのものだと言う。

「人に育ててもらった」という意識は、歳を重ねても忘れたくないですね。ですから利益を追求するだけではなく、感謝の気持ちをどう周囲に還元していくか、と考える気持ちも私は事業をする上で大切にしてきました。この先は挑戦というよりも、今の事業をしっかりと継続していくことが目標。後10年は現役で頑張るつもりですよ。顧客に選ばれ、信頼されることがさらなる会社の成長に繋がる。組織そのものを革新し、そこで学び働く人々を内面から磨き上げていく。そんな大きなミッションを胸に秘め、挑戦は続く。

エネルギーと観光の両輪で
社会と地域に貢献

別府・日出同友会

[石油類販売]

株式会社 西石油 グループ

代表取締役社長 西 貴之氏

DATA

〒別府市流川通り18丁目 ☎0977-21-2141

営業 8:00~18:00 ※各店舗の営業時間は

ホームページで要確認

☎なし あり https://nishisekiyu.jp



「人の命には限りがあるが、企業は努力次第で生き残れる」と、次世代へまた会社を受け継ぐ覚悟の西社長

戦後、重要なエネルギー源だった薪炭を売り始めたのが発祥。昭和24年、「西商店」は別府のメインストリートである流川通りでその歴史を刻み始めた。激動の時代、エネルギーの転換にいち早く対応し、昭和31年にはガソリンスタンドの1号店をオープン。別府市内を中心に続々と給油所の数を増やし、モータリゼーションを支えていった。創立者の西楫夫氏から現会長の謙二氏へ、そして貴之氏と寛之氏（専務）へと経営のバトンが受け継がれ、今では別府、そして大分県を代表する企業の一つとして存在感を増し続けている。

その途上には「いくつもの選択があつた」と振り返る。石油商品販売業の地盤を活かし「車のことなら西石油」と目標を掲げ、父が築いてくれた整備工場を国の指定工場へ格上げし、車検をはじめとするメンテナンスから板金塗装、保険の加入やレンタカーの貸出まで幅広く扱える体制を整えた。また、後継者に悩んでいた老舗和菓子店「茶郎」から相談を受け経営権を取得、その後、そのスタイルが定着した。平成28年には、熊本地震がきっかけとなり、また新たな転



昭和58年「別府ラクテンチ」入園記念の写真



平成30年に「別府ラクテンチ」の経営権を取得。思い入れの深い創業の地、流川通りということもあり令和2年にここへ本社を移転した



給油所は別府、大分、日出に9店舗あり、構える別府市鶴見に車検整備、板金塗装工場を構える



右/令和3年から経営している「ホテル別府バストラル」。ほかに「べっふ昭和園」「お宿有楽」(由布院温泉)も運営
左/観光業界に進出するきっかけとなった和菓子処「茶郎」

機が訪れる。別府の主要産業である観光業が大打撃を受けた影響で、ガソリンスタンドの売上が減少。観光客はもちろん、旅館やホテル、飲食店に食品を卸す業者まで含め、「自分たちの業界は観光業に支えられている」と改めて気づいたと言う。ならば、観光に貢献できないかと「別府ラクテンチ」の経営権も取得することになり、観光という新機軸が生まれた。ラクテンチは幼い頃、忙しい両親が連れて行ってくれた特別な場所。父と母に手を引かれ、弟とともに写った来園記念の写真を見せてくれながら、感慨深げにこう語る。「九州最古であり、全国でも希少なファミリー遊園地です。桜の名所としての価値も、温泉もある。灯火を消さないよう歴史を重ねていきたいですね」。

現在では別府・湯布院にて「ホテル別府バストラル」「べっふ昭和園」「お宿有楽」「楓の小舎」と4つの宿泊施設を運営し、油屋熊八のごとく、別府の利便性を生かした近隣エリアの発展にも尽力したいと願う。「当社も油屋ですから(笑)」と冗談めかすが、心意気は本物。今年4月からは別府市内5つのスポーツ施設の指定管理業者となり、スポーツツーリズムにも貢献していく。「コロナ禍を悲観せず、商機を掴み、未来への準備がしっかりとできました」。

従業員満足の実現と、社会、そして地域への貢献。3つの責任を果たすことが経営者の使命だと熱く語る西社長。初代の「サービス競争で生き抜こう」という言葉、そして2代目の「地元を大事にせんじとげえすんの!」という教訓を大切に、「地域に必要なとされる企業」を目指し、これからも歴史を刻み続けていく。

地元へのさらなる貢献を誓い 新社屋で再出発

土木建築資材の販売を行う竹田市唯一の企業。先日3月1日に18年間を過ごした旧社屋を離れ、新社屋に移転した。白く真新しく輝く本社には、6月を目処に「会々資材センター」を統合し、資材の管理から供給までをワンストップで叶えていく予定だ。「これまで本社と資材センターが別の場所にありました。一度に両方を訪ねていただくケースもあり、お客様にはご不便をおかけしていたんです。統合することで効率化を図り、サービスの向上に努めてまいります」。移転は、これからもいっそうお客様に役立ちたいという覚悟の現れだと、後藤高見社長は真摯に語る。

豊肥線沿線の土木・建築会社をメイン顧客とし、急な発注、納品の依頼にも可能な限り迅速に答えてきた。現場との距離の近さを強みにロゴ入りのトラックで配達に駆けまわると、そのフットワークの軽さが喜ばれて、顧客からの信頼はとて厚い。技術革新のスピードが早く新たな資材が次々と登場する中で、新社屋の誕生を機に、ニーズがあれば新商品も積極的に扱いたいと



道路、橋梁、法面、防護柵など土木工事全般の資材を扱う



注文に対応するため、大活躍の配達用トラック



ALCを専門に扱う大分支店。場所は「鶴崎スポーツパーク」の向かい



旧社屋の近くに構えた、真新しい本社。現在は資材倉庫を建設中で6月に完全移転予定

大きな郷土愛を胸に秘めた後藤社長

竹田同友会

[建設資材販売業]

有限会社 グランテック

代表取締役 後藤 高見氏

DATA

〒 竹田市飛田川瀬口2339-5

☎ 0974-63-3911

🕒 8:00~17:00

📅 日曜、祝日、第2~4土曜

📍 あり

考えている。また、ガードレールの設置など、自社で施工までを手がけることも多い。「公共工事は工期内に間に合わせる事が原則。天候にも左右され苦勞はありますが、生活のインフラを支える仕事なのでやりがいも多く、一つひとつの工事を無事に終えるたびホッとしています。その積み重ねで今日まで歩んできました」。

近年、「竹田への思いがさらに強くなっている」と熱を込める後藤社長。10年以上前に入会した「竹田ライオンズクラブ」では、数年前に会長を務めた。異業種のメンバーと交流する中で、より地元を理解でき、愛着が湧き上がってきていると言う。そんな思いも、自社の発展を竹田の発展に投影させるきっかけになったのかもしれない。

また、大分市関園に構える大分支店では、旭化成建材の販売代理店として、軽量な外壁素材「ALC」を専門に扱っている。ALCは、重量が従来のコンクリートの4分の1程度と非常に軽く、断熱性・耐久性に優れる注目の素材だ。「その性能の良さをお客様にも肌で感じてほしい」と、新社屋の外壁にも採用している。竹田市の本社では地元への貢献を誓いながら、大分支社では九州一円、さらには全国も視野にシェアを拡大していきたいと前を向く。

「グランテック」という社名は、壮大さを意味する「grand」と技術の「tech」を掛け合わせた造語。実はその中に、18年前の創設メンバー全員の頭文字が入っているそう。社員も倍に加え、若手とベテランがバランス良く働くアットホームな会社。時代やメンバーは変わっても「お客様第一」の姿勢を忘れず、この春、新たな船で次なる大海に乗り出す。



有限会社 かばた保険事務所

代表取締役 花田 祐樹さん



長洲漁港に注ぐ、駅館川の河口に事務所を構える

DATA

[保険代理店]

有限会社 かばた保険事務所

〒 宇佐市長洲4441-2

☎ 0978-38-4149

🕒 8:30~17:30

📅 土・日曜、祝日

📍 あり

https://hoken-heart.com

お客様の人生に寄り添い 幸せを守りたい

保険代理店として昭和58年6月に創業。会社が誕生したその同じ年、同じ月に生まれた花田祐樹社長は、今から十数年前に先代の後を受け継いだ2代目だ。東京のIT企業からUターンしての転身。家業とはいえ異業種への挑戦だったが、営業職の経験を活かし、また日夜勉強にも励んで自らを軌道に乗せたと言う。先代から引き継いだ長年の顧客が多く、「私たち家族が生活してこられたのも、私が大学にも行かせてもらったのもお客様のおかげです。ぜひ恩返しをしたいと思います」と当時を振り返る。

自動車保険をメインに、傷害保険、火災保険などを取り扱っている。新商品が次々と登場する保険業界だが、地域の人々にとって必要な商品を厳選している。SOMPOひまわり生命保険が高い能力を認めた「HLアドバイザー」にも名を連ね、地域密着型ながら契約件数は系列の代理店で県内トップクラスだ。それほど優秀な成績は、「お

客様をしっかりサポートし、幸せをお守りしたい」という思いの賜物。新規顧客の開拓にも増して既存顧客を大事にしており、個々のパーソナリティに応じて、適切なタイミングで適切な商品をアドバイスすることを大切にしている。「電話でも会話はできますが、できるだけお会いして、お話しした内容は備忘録に書き留めておきます」と、一人ひとりと向き合い、寄り添う姿勢が信頼を得ているのだ。「既存のお客様からの紹介も多い」と言う話も信用を裏付ける。インターネットでも気軽に保険の申し込みができる時代、顔が見えることは契約者にとって何より心強いだろう。

また、金融庁が認めた「FD宣言(お客様さま本位の業務運営方針)」にもいち早く取り組み、全国に10万軒以上あるという代理店でわずか800店舗しかない認定店舗の一つとなっている。「お客様が実現したい人生に貢献できるよう、慕われる会社でありたい」と、これからも未来志向だ。

キラリ新風力 New Wind & Fresh Power ふわり爽風力

サイクルツーリズムで 地方創生の可能性を促進

昭和52年に先代が運送会社として創業。その後はカラオケボックスから飲食業、不動産賃貸など、多様化する地域のニーズに応えながらビジネススタイルも変化させてきた。そして現在、代表取締役を務める藤野昌宏さんは、地域で20年以上愛される「Dining & Cafe OLMECA」を引き継ぎながら、昨年より日出町の魅力を引き出すサイクリング観光事業「Oita Cycle tour Ring」をスタート。平成29年に施行された自転車活用推進法や、コロナ禍によって高まる人々の健康志向にも背中を押されたという。OLMECAを拠点に展開するのは、かつて城下町として栄えた日出町の歴史や豊かな自然、食などの地域資源を活かしたガイド付き体験型ツアーの定期的な開催。さらに、観光客の休日をサポートする

レンタサイクルショップの運営だ。本格的なロードバイクからマウンテンバイク、クロスバイク、そして電動アシストユニットを取り付けたE-bikeまで、幅広い種類を用意している。自らもサイクリストである藤野さんは自転車観光の魅力を「目的地だけを楽しみにするのではなく、名所と名所を繋ぐルートまで満喫できる」と語る。今後の展開については、「サイクルツーリズムが地方創生に繋がる可能性を考え、観光消費を促していきたいですね」と意気込む。また、InstagramなどのSNSを積極的に活用することで事業の利用者拡大を図っていくという。

コロナ禍というトンネルから見えた光をいち早く察知し、観光産業の振興に寄与する新たな体験型事業への挑戦。OLMECAとして積み重ねた日々を考えると躊躇した日々もあったと言うが、それでも自らの心が前向きに動いた決断を信じて。変化を楽しみ、その行動から生まれる新たな価値観をこれからも地域と共に創造していく。



有限会社 五洋産業

代表取締役 藤野 昌宏さん



20年来的常連や観光客サイクリストなど、店には様々な人々が集う

DATA

[不動産賃貸・飲食業]

有限会社 五洋産業

〒 速見郡日出町3889-3

☎ 0977-72-0044

🕒 12:00~14:00 / 17:00~深夜0:00

📅 月曜 📍 あり

https://oitacycletour-ring.com

食肉卸・小売業 **有限会社 ヨシモリ**



緑が丘本店の食肉コーナー。店内でカットした新鮮な肉を安価で提供。ドラッグストアコスモスの一部店舗にも卸している

「おおいた和牛」の仕入れに絶対の自信

食肉の卸・小売を専門に緑が丘、富士見が丘、杵築に3店舗を展開。日出町に工場を構え、加工から配送までワンストップで対応できるのが強みだ。主に九州産の牛、豚、鶏を取り扱っており、中でも「おおいた和牛」の仕入れには自信を持つ。認定農家で育てられた最高ランクの豊後牛を厳選して店頭で販売しているほか、ホテルや旅館、焼肉店をはじめとする飲食店にも届けている。卸先に喜ばれているのは、希少部位のニーズやカットの仕方など細かな注文に応えられること。目の肥えた営業スタッフが顧客の要望を丁寧に聞き、それぞれの好みに応じている。近年はふるさと納税の返礼品も取り扱っており、これが好評。今後はインターネットでの販売やSNSでの告知にも力を入れ、個人客にも良質な肉を食べてもらいたいと意気込んでいる。



〒大分市緑が丘2-27-25
☎097-542-0139
営業9:00~17:00
休 日 曜 日
☎あり

ガソリン等販売 **有限会社 甲斐石油**



かつての「甲斐商店」をアトリエとして活用。油絵を中心に製作に励む

農業に欠かせない地域のインフラ

タバコや肥料・飼料などを販売し、創業が明治とも大正とも伝わる「甲斐商店」が起源。昭和40年代、商品の配達用にオート三輪を購入したことがきっかけで、ガソリンスタンドの経営をスタートした。モータリゼーションの波にも乗り、次第に地域の人々にとって欠かせないインフラとなっていたのは、ビニールハウス用の重油やトラクターに欠かせない軽油など、農業用の燃料も扱ったため。配達に応じることも喜ばれ、今でも日々東奔西走の大忙しだ。かつては貸別荘を営むなど、夫婦二人三脚で汗を流してきた社長の甲斐博昭さん。店は後継者に任せ、実は今年いっぱい引退を決めている。若い頃、画家を志すも家業を継いだ甲斐社長は、夢を諦めきれず50代で芸短大へ進学。引退後は画家として歩むことを楽しみにしている。「やりたいことがたくさんあり、まだまだ忙しいんです」と、充実した笑顔を見せてくれた。



〒竹田市久住町柘木
6049-58
☎0974-77-2805
営業7:00~19:00
休 日 曜 日
☎あり

清掃業 **株式会社 キョウドウ**



まずは地域密着。依頼者からの紹介で顧客層が広がっているという「おそうじ本舗大分西店」

ウィズコロナ時代の住まいやオフィスを快適に

昨秋、「おそうじ本舗大分西店」を開業し、西大分エリアを中心にシェアを拡大している。オフィスや一般家庭のハウスクリーニングに対応。引越し時の「まるごとクリーニング」から「お墓の掃除代行」まで業務の幅は広い。中でも、コロナ禍で快適かつ安全な暮らしが求められるようになり、エアコンの掃除と光触媒抗菌コーティングに力を入れている。エアコンは分解洗浄が可能で、素人の手には負えない内部のファンまでカビや匂いを徹底除去。こうしたメンテナンスをすることで故障を防ぎ、長持ちさせる効果もある。また、菌やウイルス、有害物質を分解してくれる光触媒抗菌コーティングは、飲食店のほか一般家庭にも施工できるように需要が高まっている。作業のご依頼ご相談はお気軽に。



〒大分市生石2-3-9
多賀アパート1F
☎0120-40-8013
(おそうじ本舗大分西店)
営業9:00~18:00
休 日 曜 日 不定 ☎なし
<http://osouji-oitanishi.com>

飲食業 **株式会社iwao**



「和食をお洒落に楽しめるお店」をコンセプトに、地の食材にこだわった料理が揃う

食を通じて喜びと笑顔を地域に届ける

市場から毎朝仕入れる新鮮な地魚や、一期一会の季節料理との出会いが訪れた人々を楽しませる「旬彩と魚処 男厨」を2012年3月にオープン。肩肘を張らずに済む気軽さと、垣間見えるこだわりのバランスが心地良い店は、この春ついに10周年を迎えた。代表取締役の岩男英治さんは飲食業界に長く身を置きながらも、「料理の面白さは日々発見があるところ」と語り、コロナ禍という壁に直面しながらも飲食業としての新たな道や今だからこそできる役割を模索。外食の自粛が長く続く中、病気という鬼をおにぎりにして退治してしまおうという「おにぎり(鬼斬り)プロジェクト」など、様々なアイデアを通じて地域に笑顔を届けてきた。「ピンチの時こそ、立ち止まらずに挑戦」という理念を実践する岩男さんは、今後新たな事業展開も視野に入れているという。



〒宇佐市四日市1357-4
☎0978-25-5527
営業17:30~23:00
休 日 曜 日
☎あり
<https://danchuu.wixsite.com/dancyuu>

青果卸売業 **安部青果**



「サービスも商売の一つ。頼られると何でもしてあげたい」と語る安部勝儀さん

「良いもの志向」を貫く卸売専門青果店

青果店を営み始めて約50年になる。西大分に小さな店舗を構えたのが最初で、その後、南大分にスーパーを展開。のちに挾間町に隣接する東院に移転し現在に至る。当時は周囲に店が少なく重宝されたが、大型スーパーの進出を機に事業を方針転換。大分医科大学(現在は大分大)附属病院の開院に合わせて卸売に特化し、現在も納品を続けている。病院、ホテル、飲食店などと多くの取引があり、長年の付き合いが絶えないのは「良いもの志向」を貫いてきたから。虫の混入や傷の有無を確認し、見た目の美しさにもこだわってきたと言う。メニュー開発に余念がないシェフらの要望に応え、ハーブや珍しい西洋野菜もいち早く仕入れてきた。おかげで全国の仲卸業者とネットワークがあり、多くの取引先から頼られている。現在は末の娘さん夫婦が共に業務にあたり、将来は後継者となる予定。生涯現役を目標に、これからもフットワーク軽く、大分の食シーンに貢献する。



〒大分市東院405-4
☎097-549-4515
営業9:00~17:00
休 日 曜 日 水・日曜、祝日
☎あり

飲食業 **株式会社 ひでさん**



親子2代、3代に渡って足を運ぶ人も多い。昼夜共に予約がおすすめ

日本料理人の視点からここにしかない味を追求

別府市鉄輪の高台に佇む「ひでさん」は地鶏の専門店。カリッと香ばしく焼けた表面に、柔らかくジューシーな身。店にはそんな評判を聞きつけた人々が県内外から訪れるが、その人気の裏には地鶏の味わいを引き立てる名脇役の存在があった。「開店にあたり様々なことを模索しましたが、その一つがタレですね。うちの場合は、自家製の橙酢でさっぱりと地鶏を召し上がっていただきます」。元々は割烹料理が専門というオーナーの宮尾英之さんのこの発案は、約20年前の創業当時はお客のほとんどが驚いたそうだが、徐々に店の味として浸透。今では鶏肉の一大消費地である大分の中でも個性を放つ専門店として多くのファンを心掴んでいる。また「この味を途絶えさせてはいけない」という息子さんの思いから、この春には新店舗を日出町に展開予定。法人も設立し、店の第2章が始まる。



〒別府市鉄輪784-9
☎0977-67-7833
営業11:00~14:00
(L013:30)/17:30~
21:00(L020:30)
休 日 曜 日 水曜 ※月に1度連休の
ほか不定休あり
☎あり